

平成30年度 立山町社会福祉協議会事業報告

少子高齢化、核家族化及び人口減少が進展する現在の日本では、高齢者・障がい者・子育て家庭・生活困窮者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう2025年に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されることが求められています。

高齢者福祉サービスは、2015年（平成27年）の介護保険法改正において、この「地域包括システムの構築」と「費用負担の公平化」が柱となりました。なかでも、全国一律の予防給付（訪問介護・通所介護）を、団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年度末までに地域支援事業へ移行することは、現行サービスの受け皿となる事業が存在しないと移行自体が困難となってしまいます。このほかにも、社会福祉分野では社会福祉法をはじめとしてさまざまな制度改正がなされており、環境はめまぐるしく変化しています。

このような状況の中、新たに策定した第3次立山町地域福祉活動計画に基づき、“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し”町の「立山町地域福祉計画」との連携を図りながら、地域福祉の拠点として高齢福祉、障害者福祉、児童福祉それぞれの分野において、事業を進めてきました。

また、新たに基本目標に加わった「地域福祉活動を推進するための組織強化」の成果として、「立山町社会福祉法人連絡会」を発足いたしました。今後は社会福祉法人間の連携強化を進めてまいります。

このほか、当協議会においては、地域の福祉力の底上げを目指し、「ふれあい活動事業」と「ケアネット事業」を総合的に取り入れ、高齢者から子育てまで幅広く、互いに協力しながら住みよいまちづくりを進めてきました。

また、地域の福祉力向上の一手段であるボランティア活動の推進を図るため、情報の発信に努めると共に、将来を担う子ども達の福祉理解を広めるため、福祉教育の推進に努めました。

平成24年6月4日に元気交流ステーションに移転後は、地域住民の活動拠点として町民の多様な福祉ニーズを的確にとらえ、互いに自立し、関係機関との連携や協働を密にして、① 地域福祉活動推進 ② 在宅福祉サービスの推進 ③ 総合的な相談援助 ④ ボランティア活動の推進 ⑤ 福祉教育の推進 ⑥ 高齢者福祉事業の推進 ⑦ 日常生活自立支援事業の推進 ⑧ 出逢い応援事業、を事業目標に掲げ積極的に展開してきました。

なお、主な事業等の取組みについては、次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

（1）法人運営、役員活動事業

5月 29年度会計監査	5月 9日	元気交流ステーション
5月 理事会	5月 22日	"
5月 評議員選任・解任委員会	5月 23日	文書審議
6月 評議員会	6月 13日	元気交流ステーション
8月 理事会	8月 23日	"
12月 理事会	12月 11日	"
12月 評議員会	12月 19日	"
3月 理事会	3月 18日	"
3月 評議員会	3月 25日	"
3月 評議員選任・解任委員会	3月 29日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営

ページビュー数 3, 825回

2. 企画広報事業

平成30年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった方々と団体の表彰式を開催し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。

立山町社会福祉協議会表彰 11月10日 元気交流ステーション 社会福祉事業功労9組

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい型・ケアネット型）への助成、活動強化に努めた。

第1回 地区社協会長・事務局長会議 5月 1日 元気交流ステーション

第2回 地区社協会長・事務局長会議 7月 10日 //

第3回 地区社協会長・事務局長会議 10月 2日 //

第4回 地区社協会長・事務局長会議 2月 19日 //

・県内先進地視察研修 6月29日～6月30日 氷見市 参加者26名

・ケアネット事業活動実績

H30年度：実施地区数 10地区 援助対象者 159名 活動参加者数 296名

訪問等活動延べ回数 11, 006回

※H29年度：実施地区数 10地区 援助対象者 146名 活動参加者数 290名

訪問等活動延べ回数 11, 984回

(2) ケアネットセンター運営事業

実施地区検討会・報告会等参加 16回

立山町ケアネット活動全体検討会 7月25日 元気交流ステーション

基調講演：「富山の宝・・・時代の先鞭！ケアネット」

講師：金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏 参加者45名

ワークショップ：「ケアネット活動の支援内容について考えよう！」

① ケアネット活動の範疇を越える支援の現状

② 今後必要とされる生活支援（有償）とケアネット活動の棲み分け

町内居宅介護支援事業所連絡会ケース検討会出席 2回

個別ケースの相談や会議への出席・開催 21回

(3) 福祉人材育成・支援事業

ふれあい活動員（福祉協力員）を61名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。

・第1回ボランティア・ふれあい活動員合同研修会 4月4日 元気交流ステーション

委嘱式及びボランティアの意義と今後期待される役割について学ぶ。

講義：「身近な地域におけるボランティア活動と地域福祉活動」 グループワーク

講師：富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課

課長 池田 浩一郎 氏 参加者66名（内ふ45名・ボ21名）

- ・第1回ふれあい活動員研修会 10月30日 元気交流ステーション
住民主体による地域福祉活動について考える。
講義：「支え合いマップづくりを通した地域の助け合いおこしとは？」
講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏 参加者31名
- ・第2回ボランティア・ふれあい活動員合同研修会
求められているボランティア活動の現状と今後について考える。
講義：「広がるボランティア活動から自分探しのボランティア活動へ～見つけよう！自分の良さや特技を活かしてできること～」
講師：特定非営利活動法人 常務理事 長井一浩 氏 参加者52名（内ふ31名・ボ21名）
各地区のふれあいきいきサロン運営者・協力者を対象に連絡研修会を行った。
- 第1回ふれあいきいきサロンリーダー研修会 6月20日 元気交流ステーション
「今すぐサロン活動に活かせるメニューを提案！」 参加者27名
- 第2回ふれあいきいきサロンリーダー研修会 11月20日 元気交流ステーション
「今後のサロン活動のあり方を考えよう！」
講義：「ふれあいきいきサロンの目的と役割について～寝たきり・痴呆予防+子育て＝サロン⇒地域の活力です～」 グループワーク
講師：射水市社会福祉協議会 地域福祉課長 野田 智 氏 参加者44名
各地区の子育てサロン運営者・協力者を対象に連絡会を行った。
- 第1回子育てサロンリーダー連絡会 8月2日 町立五百石公民館
「五百石地区子育てサロン見学＆情報交換会」 参加者34名
- (4) 住民参加型地域福祉事業
- ・地区社協を中心にふれあいきいきサロンランチを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。
ふれあいきいきサロンランチ 平成30年度：延べ549回 参加者延べ11,201名
※平成29年度：延べ494回 参加者延べ10,152名
- ・地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安解消や情報交換など子育て支援を行った。
- 子育てサロン 平成30年度：延べ78回 参加者延べ 2,735名
※平成29年度：延べ78回 参加者延べ 2,643名
- (5) 地域福祉活動計画の推進及び策定
- ・2018年度～2022年度の5ヵ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画の推進委員会を設置し、事業の点検・評価を行う仕組みを検討した。
- 平成30年度：事務局内検討会（月1回）
地域福祉活動計画推進委員会 5月22日 元気交流ステーション 参加者11名
- (6) ふれあい総合相談事業の実施
- 弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また、事務局職員が相談援助を隨時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。
- ・心配ごと相談員及び職員を対象に研修会を開催した。

第1回 心配ごと相談員研修会	7月26日 元気交流ステーション (内容は立山町ケアネット活動全体検討会と合同開催)	参加者10名
第1回ふれあい総合相談センター相談員合同研修会	9月26日 元気交流ステーション (内容は心配ごと相談員・行政相談委員・人権擁護委員・生活支援員・社協役職員との合同)	参加者19名
第1回心配ごと相談員連絡会	1月8日 2019年度ふれあい総合相談センター開設計画等	参加者11名
・相談件数 法律相談 37件 心配ごと相談 8件 職員対応相談 28件		

4. 助成事業

社会福祉団体等6団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

要介護認定を受けている高齢者の方で、在宅で日常的に車椅子を使用している方を対象に通院等の外出支援を行った。

登録者数 3名 利用延べ日数 20日 利用延べ回数 20回

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業 ボランティアセンター相談件数 466件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内数か所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。

(3) 調査研究事業

地域で予測される課題への対応を探るため、調査研究事業を実施した。県内先進地区の生活支援の取り組みを調査する視察研修会開催の他、同事業において平成28年度に調査した子ども食堂を、29年度と同様にイベントに合わせて試験的に設置した。

第1回 県内先進地視察研修会 6月29日・30日 氷見市

(地区社協事務局長先進地視察研修会と合同開催) 参加者26名

・子ども食堂の試験的な設置 11月10日 参加者180名

(内スタッフ40名)

(4) 養成研修事業 一ボランティアリーダー・サポーター研修会一

ボランティアリーダー・サポーター等の交流・育成を目的に研修会・連絡会を実施した。

第1回 ボランティアリーダー・サポーター研修会 4月4日 元気交流ステーション

(*第1回ふれあい活動員研修会と合同開催) 参加者21名

第2回ボランティアリーダー・サポーター合同研修会 2月25日 元気交流ステーション

(*第2回ふれあい活動員研修会と合同開催) 参加者21名

(5) ボランティアサポーター設置事業

ボランティアサポーターを9名配置し地域でのボランティア活動情報の提供等を行った。また、連絡会を開催し、情報交換や各地域でのニーズを持ち寄り検討した。その他、福祉人材育成の視点から、子どもボランティア体験学習会等への参加協力も行った。

第1回 ボランティアサポーター連絡会 5月24日 元気交流ステーション 参加者 9名

第2回 ボランティアサポーター連絡会 10月 2日 元気交流ステーション 参加者 8名

(*その他、(4) ボランティアリーダー・サポーター研修会として研修会を開催)

(6) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつりをボランティア連絡協議会と共同で開催した。ボランティア団体の紹介・活動披露・福祉施設物品販売・ボランティア体験コーナー等を行った。また、子育て・居場所づくりボランティアの活動啓発の目的で、一部共同募金事業の子ども食堂にも協力した。

・ボランティアまつり 10月20日 町元気交流ステーション 参加者約175名

(7) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校9校（小学校7校、中学校1校、高校1校）に活動費助成を行った。

(8) 福祉教育地域指定推進事業

「収集ボランティアを学ぼう」というテーマに基づき、ボランティア団体や高校・放課後児童クラブと連携し、町内の小学生を対象に子どもボランティア体験学習会を実施した。また、保育関係者・教育関係者・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。

・子どもボランティア体験学習会

第1回 「収集ボランティアについて学ぼう」ペットボトルキャップ回収活動と共同募金のしくみ
7月26日 株式会社 アルト見学 立山小学校児童 参加者20名

第2回 「収集ボランティアについて学ぼう」古切手回収活動と共同募金のしくみ
8月 7日 町内小学生及び高校生 参加者29名

第3回 共同募金協力活動「街頭募金活動」（共同募金事業と共同開催）
11月3日 雄山中学校 7名 （事前学習会10月6日 9名）

・福祉教育推進セミナー

第1回 福祉教育推進セミナー 6月8日 元気交流ステーション

講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久 氏 参加者20名

第2回 福祉教育推進セミナー（報告会） 2月15日 元気交流ステーション

報告：立山小学校・雄山中学校・立山町ボランティアセンター

講師：学校法人 富山国際学園 富山国際大学 子ども育成学
教授 村上 満 氏 参加者43名

(9) 災害救援ボランティア活動支援事業

災害救援ボランティアセンターの設置訓練、町総合防災訓練への参加を通して、災害時の役割の検討を図った。

・災害救援ボランティア研修会

第1部 <講義>「災害救援ボランティアセンターの災害救援ボランティアの概要について」

第2部 <体験>「災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練」

2月6日 元気交流ステーション イベント広場等

講師：特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏 参加者 22名

・町総合防災訓練 9月29日 町中央体育センター 参加者 8名

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護 1～5	月平均利用者数	99名
介護予防	月平均利用者数	14名

8. 居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）

(1) 要介護認定者への訪問介護	要介護 1～5 総合	利用時間 1,433時間 140時間	月平均利用者 16名 24名
(2) 障害者への訪問介護	身体障害者 知的障害者 精神障害者	利用時間 254時間 271.4時間 399.5時間	月平均利用者 28.2名 23.8名 32.7名
(3) 自立支援サービス		利用時間 29.5時間	月平均利用者 1名

9. 日常生活自立支援事業

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などを対象に本人や関係機関の相談に専門員が応じた。

判断能力等の低下により本事業の利用が適している方とは契約し、金銭管理等のため生活支援員が訪問し、援助を行った。

利用者 5名 生活支援員登録者 6名 制度利用等相談件数 11件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロンとして、引きこもりの防止や介護予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設置、教養講話やボランティアグループ等の活動披露、季節行事等を通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの一助となる機会を提供した。

元気交流ステーション 2階大広間 サロン開催日数 199日

ボランティアグループ活動披露数 80回

季節の行事 3回（3周年記念イベント・夏祭り・おひな祭り）

延べ利用者数 7,748名

(2) 福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

運行回数 延べ 193回 (くつろぎサロン送迎運行回数 101回)

利用者数 延べ 3,064名

11. 基金運営事業

- (1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営
- (2) ボランティア基金の管理、運営

12. 共同募金配分事業

- (1) ふれあいいきいきサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいきいきサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

講師：ハートビートライフ・オカ インストラクター他

延べ55回派遣 参加者延べ 1,201名

- (2) 住民支え合いマップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化することで、地域住民の支え合いの実情や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。

住民支え合いマップ入門セミナー

講義・実習：「支え合いマップづくり入門」

講師：住民流福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏

6月8日 大清水新町公民館

参加者 14名

6月9日 岩崎公民館

参加者 26名

住民支え合いマップ実践セミナー

実践：「ご近所パワーで助け合い起こし」

講師：住民流福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏

6月9日 岩崎公民館

参加者 26名

10月29日 末三賀東部

参加者 12名

10月20日 雄山神社会議室（岩崎寺）

参加者 10名

- (3) 社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行

年5回 全世帯配布

- (4) 地域福祉・ボランティア活用啓発事業

地域福祉・ボランティアに関する広報パンフレットを作成し、地区総会等で配布・啓発した。

- (5) こども食堂運営事業

8月、11月にこども食堂を開設した。また、ボランティアサポーターとの反省会や各地区社協役員、ボランティアを対象としたこども食堂の在り方検討会を開催し、連携を図った。

第1回ふれあいカレー食堂なかよし 8月1日 元気交流ステーション 参加者 193名

(内 32名はボランティア)

第2回ふれあいカレー食堂なかよし 11月10日 元気交流ステーション 参加者 180名

(内40名はボランティア)

ふれあいカレー食堂なかよし反省会	11月22日	元気交流ステーション	参加者8名
こども食堂あり方検討会	2月19日	元気交流ステーション	参加者35名

(6) 地域歳末たすけあい助成事業

歳末の時期に全地区社協に助成金を配分し、高齢者宅への慰問、三世代交流やクリスマス会等の行事が実施された。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

取扱件数 8件 制度利用相談件数 13件 繼続相談件数 57件

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センターと連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者（生活困窮者）に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

事業利用件数 4件

1.4. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員16名 支援員28名（プランナー10名・アドバイザー11名・サポートー7名）

センター長1名（社協事務局長兼任） コーディネーター1名（社協職員兼務）

登録会員147名（内訳：男性97名・女性50名：3月31日現在）

※推進委員会の設置 円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会长が委嘱する。

※支援員は、地域活動に参加している者で、結婚への支援及び地域の担い手育成に理解と関心を持ち、その役割遂行に支障のない者を、立山町社会福祉協議会会长が委嘱するものである。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第2・4木曜日午後、第1・3土曜日午前、第1・3木曜日夜、第2・4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室 相談件数 54件 マッチング24件

・成婚カップル 1組（累計5組）

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言

第1回推進委員会 6月14日 元気交流ステーション 参加者10名

第2回推進委員会（報告） 2月26日 元気交流ステーション 参加者10名

・支援員研修会及び情報交換会の開催 結婚支援に対する必要な研修（婚活支援についての情報セキュリティ、コミュニケーション等）を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報

共有の場を提供

第1回支援員研修会	5月29日	元気交流ステーション	参加者24名
第1回情報交換会	5月29日	元気交流ステーション	参加者24名
第2回支援員情報交換会	7月7日	元気交流ステーション	参加者21名
第3回支援員情報交換会	9月13日	元気交流ステーション	参加者22名
第1回全体研修会	9月13日	元気交流ステーション	参加者25名
第2回支援員研修会・	1月11日	元気交流ステーション	参加者24名
第4回支援員情報交換会	1月11日	元気交流ステーション	参加者24名
第2回全体研修会	3月10日	元気交流ステーション	参加者23名

・事業啓発イベントの開催

春イベント	アルプスエクスプレス号で行こう！春色トリップ アルプスエクスプレス号内・岩崎寺周辺	参加者54名
夏イベント	夏祭りパーティ Beer&Cocktail	元気交流ステーション 参加者60名
秋イベント	ハロウィンスイーツパーティ	元気交流ステーション 参加者56名